

サービス利用者名

熊本県上天草市、ENEOS株式会社

サービス利用者が未定の場合はその旨を理由と共に記載してください

サービス提供者名

ウミトロン株式会社

プロジェクト概要(200文字程度)

熊本県上天草市では2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、温室効果ガスの排出量・森林吸収等の分析をすすめる中で、沿岸の藻類を活用したブルーカーボンの活用を検討している。本提案では衛星データを活用してブルーカーボン蓄積量とポテンシャルを評価することで、自治体、地域関係者、大手民間企業が連携してカーボンニュートラルを目指す新たな事業モデルを実証する。

プロジェクト詳細(実証概要と効果等を図表等を用いて説明)

課題

ブルーカーボンは藻場や浅瀬等の海洋生態系に取り込まれた炭素を意味し、ブルーカーボンを隔離・貯留する海洋生態系はその蓄積量や吸収の速さから注目を集めている。カーボンニュートラルに向けて自治体での活用検討が進んでいるが、蓄積量やクレジットとしての対象エリアのポテンシャル評価が難しく、計画立案を進める障壁となっている。一方、民間企業からはこのようなクレジットの購入意向は高まっているが、どの自治体でどういう取組が行われているかの調査は各社各様で手探り状態である。

実証概要

本実証では、SDGs未来都市に応募し、「海にきらめく島々を活用したサステイナブルシティ」を目指す上天草市をフィールドとし、ブルーカーボンを起点に、自治体と企業をつなぐマッチングプラットフォームのプロトタイプ・事業実証を行う。衛星データと地上データを活用し、ブルーカーボンの蓄積量及びポテンシャル評価を行うとともに、自治体、地域関係者、大手企業へのヒアリングを行い、両者をマッチングするための必要情報の評価検証を行う。

狙う効果

2050年のカーボンニュートラル達成に向けてブルーカーボンに関心を寄せる自治体は多いものの、算定や事業制評価に関する情報が少なく、計画立案が進行していない。本実証事業を通じて、衛星データ活用による計画立案の事例を構築し、他地域や他企業への展開を狙う。

上天草市

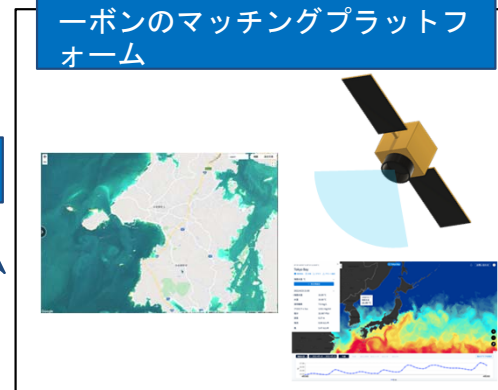
実証フィールド
自治体としてのフィードバック提供

ウミトロン



プロトタイプ・フィードバック調査

衛星データ活用によるブルーカーボンのマッチングプラットフォーム



民間企業 (ENEOS等)

クレジット購入候補としてのフィードバック提供